



2016年度 功労者表彰式開催

2017年6月29日(木)、2016年度功労者表彰式がベルーサル新宿グランドにて開催されました。表彰式は、加盟団体代表委員の皆様のご出席のもと、盛大に執り行われました。長年のバレーボール界におけるご活躍とご功績に感謝申し上げますとともに、今後ますますのご健勝をお祈りいたします。

【功労者一覧】（以下敬称略）

《功労者Ⅰ表彰受賞者》

表彰者名	推薦団体
高橋 治憲	(公財)東京都バレーボール協会

《功労者Ⅱ表彰受賞者》

表彰者名	推薦団体
阿部 良行	北海道バレーボール協会
藤本 勝彦	宮城県バレーボール協会
茂木 十一	群馬県バレーボール協会
寺田 美代子	埼玉県バレーボール協会
青柳 伸一郎	千葉県バレーボール協会
鈴木 力正	(公財)東京都バレーボール協会
内藤 繁次	山梨県バレーボール協会
倉地 修	新潟県バレーボール協会
夏目維文	(一社)静岡県バレーボール協会
山本 常雄	(一社)静岡県バレーボール協会
澤村 久夫	愛知県バレーボール協会
長谷川 好信	岐阜県バレーボール協会
藤田 充男	岐阜県バレーボール協会
松田 滋	滋賀県バレーボール協会
松下 光一	(一財)広島県バレーボール協会
山中 しづ枝	(一財)広島県バレーボール協会
伊達 勉	徳島県バレーボール協会



■表彰受賞者の集合写真

後列(左から):(小島徳文)、(下村英士)、(浮田豊史)、山本常雄、鈴木力正、青柳伸一郎、(渋谷研一)、(松野正士)

前列(左から):夏目維文、松下光一、澤村久夫、伊達勉、高橋治憲、藤本勝彦、寺田美代子、茂木十一、倉地修 敬称略

※()は代理出席者の方



■表彰受賞者、推薦加盟団体の皆様と役員の集合写真

【受賞者のご紹介】

功労者Ⅰ表彰受賞者

○高橋 治憲（たかはし はるのり）

公益財団法人東京都バレーボール協会推薦

長年にわたり JVA の指導普及委員会の委員、副委員長として中学校指導者等の指導育成に従事し、特に難しいといわれている男子バレーボール部員の裾野拡大にご尽力されました。また、日本バレーボール協会の理事として協会の堅実な事業運営を図り、監事としても赤字状態にあった協会の財政について適切な助言・指導を行い、2016 年度の財政の健全化に貢献されました。更に、全日本ジュニア、ユースチームの団長として、国際大会に参加されたときには、遠征時のチームの統制・強化にとどまらず、選手の健康管理にも心配りをして、幾度となく準優勝等の実績を残されました。

功労者Ⅱ表彰受賞者

○阿部 良行（あべ よしゆき）

北海道バレーボール協会推薦

1973 年 4 月の札幌市立発寒中学校バレーボール部監督に就任以降、2012 年 3 月までの 41 年間、札幌市内の 8 つの中学校のバレーボール部監督を務め、中学校のバレーボールの普及・強化にご尽力されました。1993 年 4 月より北海道バレーボール協会の常任理事に就任し、退任される 2011 年の 3 月まで、道内の小・中学校の指導に力を注ぎ、道内の競技普及に大いに貢献されました。

2011 年 4 月に同協会の副理事長に就任された際は、国際大会、全国大会等の誘致や運営等で活躍され、道内のバレーボールの発展に大きく寄与されました。

○藤本 勝彦（ふじもと かつひこ）

宮城県バレーボール協会推薦

宮城県バレーボール協会の主要役員として 1995 年 4 月より長年にわたり、県協会主催事業の成功と協会発展に大いに貢献をされています。現在では、県協会の常任理事として、国際大会や国内大会の主要役員として活躍されており、宮城県協会の加盟団体である宮城県クラブバレーボール連盟の会長としても長年組織を統括されています。

今後も生涯スポーツ推進と協会の更なる発展への貢献が期待されています。

○茂木 十一（もぎ そいち）

群馬県バレーボール協会推薦

1981 年群馬県バレーボール協会理事の就任と同時に群馬県クラブバレーボール連盟の設立に奔走され、それ以降 32 年間、新生クラブ連盟の組織の充実とチームの育成・競技力の向上に努め、登録チーム数を 50 チームまでに発展させました。自らも監督としてチームを関東大会 7 回、全国大会 9 人制選手権、国体関東ブロックに出場させる等強化にも携わりました。県協会では、競技委員長、副理事長として各種行事や V リーグ、県民体育大会の実行委員として積極的に運営に携わり、県協会の発展に寄与されました。

2005 年には、文部科学省大臣表彰を受けています。

○寺田 美代子(てらだ みよこ)

埼玉県バレーボール協会推薦

1965年第14回全国青少年大会優勝の経験を持ち、埼玉県の指導強化と競技の普及発展に大いに貢献されました。

長年にわたり埼玉県バレーボール協会の常任理事として活躍されています。また、埼玉県ママさんバレーボール連盟では、理事長を歴任され、ママさん連盟の全国大会などを成功に導きました。その功績が認められ、現在では埼玉県ママさんバレーボール連盟の会長を務めています。

○青柳伸一郎(あおやぎ しんいちろう)

千葉県バレーボール協会推薦

1991年に千葉県バレーボール協会の理事に就任以来、国際大会、全国大会、Vリーグ等の準備、運営等を率先して遂行し、各大会の成功に貢献されました。特に広報の責任者として、広報及びマスコミ関係の対応や、記録報道委員長として各大会の記録をまとめ、「バレーボール千葉(年間記録誌)」を毎年発行している功績は多大なものがあります。また、県内高校のバレーボール部監督として、技術指導のみならず、生徒指導にも力を注ぎ、関東大会出場等の好成績を収めるなど、千葉県のバレーボールの普及発展と強化に貢献されました。今後も協会の中心的存在として後進の指導をしていただきたい。

○鈴木 力正(すずき りきまさ)

公益財団法人東京都バレーボール協会推薦

1974年4月より東京都高等学校体育連盟バレーボール女子部常任委員として36年間活動されました。また、東京都バレーボール協会では1979年～2010年の間、理事、評議員等の重責を歴任されました。

チーム指導においては、東京都高体連女子部新人選手権大会でベスト16、冬季(春の高校バレー一次予選)大会への出場、私学大会では関東私立高等学校選手権大会出場の成績を残されました。また、2001年～2009年までは春の高校バレー全国高等学校選手権大会の大会副委員長として実働役員を統括する立場でご尽力され、大会成功に大きく貢献されました。

○内藤 繁次(ないとう しげつぐ)

山梨県バレーボール協会推薦

V・プレミアリーグで活躍された内藤香菜子(旧姓)選手のお父上であり、内藤選手が幼少期にスポーツ少年団に加入したことを契機に、理事として山梨県バレーボール協会の運営に参画されました。その後、常任理事(特別事業部長、総務委員長、副理事長等)として、Vリーグ、V・プレミアリーグ、日米大会等の誘致に奔走し、2004年から10年間にわたり、サントリーサンバーズのサブホームタウン化に成功し、県内の幅広い年齢層に日本トップレベルのプレーを観戦する機会を創出する成果を挙げられました。現在では、県協会の財産及び業務執行を監査する監事の立場で、引き続き県協会発展のためにご尽力されています。

○倉地 修(くらし おさむ)

新潟県バレーボール協会推薦

2007年より新潟県バレーボール協会の理事長に就任し、「第64回トキめき新潟国体」のバレーボール競技の総括責任者として計画準備やリハーサル大会の運営等に奔走されました。万全の計画準備を行った結果、本番での競技運営は大変素晴らしいものとなりました。正にこの大会成功の立役者は倉地氏であり、そのご苦労と功績は多大なものでありました。

理事長として8年間県協会の組織の充実と改革を行い、バレーボールの強化普及活動、北信越バレーボール連盟での活躍等は称賛に値します。

○夏目 維文(なつめ これふみ)

一般社団法人静岡県バレーボール協会推薦

1994年第1回Vリーグ静岡大会で財務部長として日本バレーボール協会との連携を図り、大会運営の成功に寄与されました。特に1997/98年(第4回)から2004/05年(第11回)までは会場責任者として陣頭指揮を取り、大きな成果を挙げられました。1996年より静岡県バレーボール協会が導入した個人登録料に深く関わり、静岡県バレーボール協会及び各専門部の財政面において貢献されました。1997年から8年間 副理事長、2009年から8年間 副会長として県協会の発展のためにご尽力されました。

○山本 常雄(やまもと つねお)

一般社団法人静岡県バレーボール協会推薦

当初は、静岡県内の東レアローズを応援する立場から、実業団リーグ、日本リーグ、Vリーグ、V・プレミアリーグを通じて、三島・草薙大会の準備運営に一貫して携わってこられました。静岡方式という高校生や教え子のボランティアを中心に椅子並べや会場案内を行い、収容人数の少ない弱点を創意工夫により経済的に補ってこられました。東レチームと静岡県バレーボール協会が良好な関係を今日まで維持しているのも山本氏の功績といっても過言ではありません。

静岡県総体・国体の運営に当たっては、裏方に徹し、実行委員長として活躍されたことにより、大会を成功裏に終わらせることが出来ました。また、1997年から16年間 副理事長として県協会の発展のためにご尽力されました。

○澤村 久夫(さわむら ひさお)

愛知県バレーボール協会推薦

長年にわたり愛知県バレーボール協会の理事・常任理事を務め、特に審判委員会を中心に活躍し、審判員の育成にご尽力し、愛知県のバレーボール発展に大きく寄与されました。また、実業団バレーボール連盟にも長く携わり、特に愛知県実業団バレーボール連盟では理事長を務め、愛知県で開催された全国大会、全日本9人制実業団選手権・桜田記念大会等の実質的責任者である大会副委員長として大会運営の成功のために奔走されました。

日本実業団バレーボール連盟では審判規則部長を務め、JVA 審判規則委員会に実業団連盟の代表として参画されました。

○長谷川 好信(はせがわ よしのぶ)

岐阜県バレーボール協会推薦

長年にわたり、岐阜県バレーボール協会の理事(10年)、常任理事(12年)として県協会の発展にご尽力されました。また、2001年～2013年の12年間可茂地区バレーボール協会理事長として可茂地区の発展の為に、V・チャレンジリーグ会場の誘致そして2012年第67回国民体育大会成年女子の開催会場責任者として大会を効率よく運営し、地域のバレーボール発展に大いに貢献されました。1970～1982年の13年間は、可茂バレーボール協会審判委員長として若い審判員の育成にも努め、岐阜県バレーボール協会及び可茂地区バレーボール協会の発展に多大なる功績を収められました。

○藤田 充男(ふじた みつお)

岐阜県バレーボール協会推薦

長年にわたり、岐阜県バレーボール協会の理事(12年)、常任理事(12年)、副理事長(2年)として県協会の発展にご尽力されました。2003年～2012年競技委員長(10年)としてV・プレミアリーグ、チャレンジリーグを始め、特に2012年第67回国民体育大会では、競技委員長を務めるなど、すべての大会において効率よく競技運営をされました。また、1983年～2016年の33年間各務原市蘇原第一ジュニアスポーツ少年団バレーボールチームのコーチとして子供たちの育成、そして1985年～2010年の25年間川崎重工業(岐阜)男子バレーボール部監督として実業団バレーボール連盟の発展のために貢献されました。

○松田 滋(まつだ しげる)

滋賀県バレーボール協会推薦

長年にわたり滋賀県バレーボール協会の組織充実に努力され協会の発展に大いに貢献されました。中でも滋賀県バレーボール協会のチーム登録委員として加盟チームの拡大、バレーボール競技の普及活動にご尽力されました。更に、組織の改革・改善を積極的に取り組み、持ち前のリーダーシップを発揮されました。全国大会やV・チャレンジリーグ等では実行委員長をつとめる等、大会運営を効率よく開催した功績は大きいものがあり、そのノウハウは現在に至るまで継承され協会の更なる発展に活かされています。

○松下 光一(まつした みつかず)

一般財団法人広島県バレーボール協会推薦

一般財団法人広島県バレーボール協会の常務理事として、広島県で開催された世界選手権及びワールドカップなどの国際大会の会場設営責任者を務められました。その時の活動は、地元マスコミにも賞賛されました。

また、広島県バレーボール協会の役員を26年間務め、現在も副会長として、倫理委員会の先頭に立ち、全ての県協会加盟団体の意見収集に力を発揮されています。

その地道な活動が認められ、2008年には文部科学大臣表彰(生涯スポーツ功労者)を受けています。

○山中 しづ枝(やまなか しづえ)

一般財団法人広島県バレーボール協会推薦

大学時代には、1969年のアジアユース大会、1970年のユニバーシアード大会の日本代表選手として活躍されました。

卒業後は、広島県内中学校の指導者をはじめ、現在の広島文化学園の監督を務めるとともに一般財団法人広島県バレーボール協会の常務理事(指導普及委員長)を務めました。1994年には日本バレーボール協会の公認講師の資格を取得し、全国各地の指導講習会においても活躍されています。

2006年には、文部科学大臣表彰(生涯スポーツ功労者)を受けています。

○伊達 勉(だて つとむ)

徳島県バレーボール協会推薦

徳島県バレーボール協会においては、理事から始まり、現在は副会長 兼 理事長の役職を務め、組織の中心として、徳島県バレーボール協会の発展のために大いに尽力されています。また、日本実業団連盟の四国ブロック理事長を7年間、JVAでも四国ブロック理事長を2年間務め、献身的な活動を行ってきました。バレーボールの指導においては、ママさんバレー、社会人及び国体青年女子チームと多岐にわたり、チーム強化とバレーボール競技の普及にご尽力されてきました。

以上

発行：公益財団法人日本バレーボール協会

発行人：代表理事 事務局長 林 孝彦

電話：03-5786-2100 FAX:03-5786-2109

E-mail：generalaffairs@jva.or.jp